



大津市浜町1-38
滋賀銀行従業員組合
TEL 077-525-5232
TEL 077-521-2775
FAX 077-525-5232
http://www.biwa.ne.jp/ffs/
E-Mail: ffs@biwa.ne.jp

7・16 「さよなら原発10万人集会」に参加して

澤井 正

その他3名の金融労連の仲間と声をかけられたので、銀行労働者も多数が集まったと思います。猛暑にかかわ



「原発なくせ」を願う17万人の声響く

金融労連
全国金融労連
7/16 さよなら原発 10万人集会



7月16日「さよなら原発10万人集会」が東京・代々木公園で開かれ北海道から沖縄まですべての都道府県から17万が参加しました。この集会は作家の大江健三郎さんや音楽家の坂本龍

一さんら著名人9人が呼びかけたもので、市民をはじめ学生や宗教者、労働組合、民主団体など幅広い人たちが参加し過去最大規模の反原発集会となりました。組合から澤井書記長が参加し、田中さん・植木さん・奥村さんの3人の先輩組合員とともに猛暑の中「原発なくせ」の行動で、野田内閣に原発からの撤退を求めました。

「原発なくせ」の思いを持つ国民と大きな連帯となりました。私もネットを見ながら「さよなら原発1000万人アクション」の7854648人目のネット署名をしました。(中)



7月16日、ノーベル賞作家の大江健三郎さんから9人の呼びかけにより「さよなら原発10万人集会」が代々木公園で開かれました。私は滋賀銀行従業員組合を代表し、滋賀県の仲間と参加しました。全国からの参加で「10万人集会」は最終17万人にふくれあがりました。

滋賀県からは「ばいばい原発守ろうびわ湖」の呼びかけのバス2台と新幹線組など130名以上が参加していると聞きました。私は県庁を0時に出発し、周りの人と親しくなるのに「原発ゼロ一点の思い」で



時間はかかりませんでした。20代の青年・サラリーマン・主婦・自営業者・学生・年金生活者の多彩な顔ぶれは、全国から参加した顔ぶれと同じだと感じました。

早朝8時頃、会場に着き最終パレード出発時間と場所を確認して、メイン集会参加まで自由行動となったので、持参した「金融労連・滋賀銀行従業員組合」の旗を掲げていたら、東北の北都銀行労組の鈴木さんと伊藤さん、しばらくして青森労組の神さんが旗を見て声をかけてこれれ記念撮影をしました。



いものがこみ上げてきました。三連休最終日で帰りの高速道路が渋滞、自宅に着いたのは翌日午前2時、26時間の行動に心地よい疲れを覚え一杯飲み就寝しました。

職場の声

いじめは絶対に許されない

大津市で中2自殺問題が全国的に報道されています。尊厳1人の命を奪ったのは、いじめです。私もかつての上司に度重なるいじめを受けていました。「辞めてしまえ。死ぬ。お前が死んで悲しむのは、お前のあほな親2人だけや。」と言った言葉の暴力だけがなく、向う脛を革靴で蹴られるといっ

た暴行も受けていました。そんな事を思い出してしまいます。警察へ被害届を出そうと考えましたが、何度もためらっています。被害届を出せばトするのではと思ってしまうか。その後、皆でよくやっていきました。今の中2生徒も誰にも相談できず、行き詰まり、死を選んできました。今も行っても同じようないじめが横行してあります。絶対許されるものではありません。一人で悩んでないで、組合や相談機関へまずは相談して欲しいと思います。

「公契約・最賃の目的と運動について」学習会 みんなの問題！

7月18日、野洲市において「公契約・最賃の目的と運動について」学習会が開催され八軒て県春闘共闘・県労連・滋商連・県自治体問題研究所の共催による「公契約・最賃」の学習会が実施されました。



講師の原富悟氏（元埼玉労連議長）は、「公契約適正化運動を考えると」をテーマに野田市や国分寺市の公契約条例にも触れて、「公契約」の果たす役割や目的、その可能性を自身の実践経験からわかり

やすく解説しました。自治体が発注する仕事や、建設関係では、労働者賃金が民に比べ官が安い実態などがあり、民の賃金水準を引き下げる役割を果たしていること、非正規職員の時給も民に比べ官が安く、地域の賃金水準を引き下げているとしました。自治体キャラバンでは、官が民に発注している公契約内容と地域の実態をしっかりと調査し、公契約内容の改善を求めることが、住民の暮らし改善につながると強調しました。（八軒）

職場の声

認知症お年寄りの電話に困惑

高齢化社会の進行もあり、いくつかの支店で認知症の方の窓口対応や電話で困っています。先日も市役所の人と銀行で話し合いされたのですが、市役所にも毎日電話されているらしく、民生委員さんもどろぼう呼ばわりされ、交番も度重なる電話に困っておられるとのこと。施設への入所も介護基準などとの関係で無理とのこと。銀行には毎日大量の電話があり、電話回線が何本もある店はいいのですが、小さい店なら大変だと

と思います。高齢化社会の影響がこちらに現れてきています。一人暮らしの高齢者や障がいを持つ方に対する地域での「見守り活動」や安心・安全のまちづくりが進められています。地域・行政に加えて地域社会の一員としての企業にもその役割が求められる時代だと思っています。認知症の方だけでなく銀行も一歩つつこんで地域の諸団体と協力して安心して老後を過ごさせてあげるのが大事なのだと思います。



銀行の自浄能力が問われる 企業の見方に限界

豊島から汚染廃棄物がびわ湖に運ばれ水洗浄処理されることが発覚し、白紙撤回になったことはご存じですか。私も和邇学区の環境委員として署名を集めたり、2回香川県に出向きました。汚染土壌を水洗浄処理する企業が「環境破壊と住民生活を不安」にしています。ここで問題なのは、滋賀銀行がその企業を「良い



企業」として広報誌「かけはし」で紹介したことです。情報が入らないのか、意見が言えないのか、いずれにしても銀行の自浄能力が働かないことは疑問です。収益以外の物差しで企業を見られないところに、いまの金融機関の限界があります。自分の意見や考えを言えることは大切なことで、企業にとっても必要な人物であると同時に、多くの人から意見が聞ける企業体質をつくることも大切だと思えます。退職し65歳で書記長をしています。道理に基づいた闘う組合を盛り上げていくことは従業員の生活を守り、しいては企業をまもることにつながります。（澤井）

「豊島公害調停の会」が報告会 汚染土壌搬入を止めた力

二万五千人にのぼる署名と公害調停運動は豊島の汚染土壌の搬入を中止させるといふ大きな成果を得ました。その報告会が5月26日、約60名の住民が参加して真野市民センターで開かれました。石

土壌の管理、監視の強化や条例の制定を求めていく活動その他を継続して行くことを確認しました。参加者からは「今回の運動で、より危険なものが搬入されたことが明らかになったが何としてもきれいな水を取り戻したい」との強い思いが述べられ、「あらゆる力を結集して総力を発揮する」という集会宣言を満場の拍手で採択して終了しました。この記事は5月に行われた報告集会を伝えるものですが、上記の記事との関係で作成者の許可を得て転載したものです。



さよなら原発 10万人集会 に呼応して



「7・16さよなら原発10万人集会」を何としても成功させたい、原発再稼働絶対反対の声を野田首相に突きつけたといふあふれる思いはあるものの事情で東京へは行けない。「ならば地元で声を上げよう」といはいばい原発・湖西の会が呼びかけ「7・10原発なくせ和邇駅前集会」が開催され近くに住む澤井さんが参加しました。

呼びかけに応じて、ネット上で知った人も含め幅広い市民42人が駆けつけました。車の窓から「頑張れ」の声援も。その後、元気いっぱいしのシュプレヒコールが駅前にこだましていました。集会後は、駅前や平和堂前で署名行動を行い、20分間で81筆が寄せられ、みんなでもっともっと広げようと呼び合っていました。